

# 一 般 質 問 通 告 書

平成31年第1回定例会 No. 1

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
1	沖 野 一 雄	1 町内における児童虐待等の実態と対策について	(1) 近年、幼児や児童に対するいわゆる虐待等による痛ましい事件が全国的に増えているようであるが、本町においては、その実態についてどのような方法で把握し、具体的な防止対策や予防啓発についてどう進めていく考えであるか。	町 長 教 育 長
		2 選挙管理事務の改善策について	(1) 今秋には町長選挙、来年は町議会議員選挙が予定されている。前回の町議会議員選挙の際には多くの立候補者が出たため、告示日当日の「立候補届け出受付事務」に相当の時間差が生じたことから、当該事務処理の迅速化について特に改善の必要性を痛感するが、今後の対応策をどう講じていく考えであるか。	選挙管理委員会委員長
		3 ICT導入による議会業務等の改善策について	(1) 議会や行政において、ペーパーレス化によるコスト削減や業務の効率化を図るため、タブレット端末等の活用によるICT導入を提案したいが、調査検討を加速する考えはないか。	町 長
2	高 田 豊 繁	1 与論町新築住宅に対する固定資産税の減免に関する条例の拡充と延長について	(1) 平成24年10月1日から適用され、平成31年1月1日で住宅取得期間が期限切れとなっているが、本条例の拡充と延長を行う考えはないか。	町 長
		2 旧庁舎の取壊し計画について	(1) 旧庁舎3階部分は、早期取壊しの必要性が高いと考えるが、安全性とコスト面から施工方法を十分に検討したVE(技術提案)方式を採用する考えはないか。	町 長
		3 勝みなみプロの応援態勢の強化や多目的運動広場利用の拡充について	(1) 本町出身者から国内屈指の女子プロゴルファーが輩出し、今後町を挙げて応援すべきと考えるが、町長はどのように考えているか。 (2) 女子プロゴルファーの来島もあり、今後町内におけるゴルフ人口の増加が期待される。多目的運動広場の天然芝エリアに、緑陰の整備や十分な締固め転圧等を行うとともに、東側崖面を活用した打放し施設の整備を行いゴルファーのニーズに応える考えはないか。	町 長 教 育 長

# 一 般 質 問 通 告 書

平成31年第1回定例会 No. 2

順位	質問者	質問事項	要 旨	質問の相手
		4 沖永良部与論地区広域事務組合の円滑なる業務運営について	(1) 昨今、沖永良部与論地区広域事務組合から構成3町の消防費負担金支弁に関する不合理な改定案が提起され、円滑な業務運営を図る上からも問題となっているが、町長は今後の方策をどのように考えているか。	町 長
3	林 隆 壽	1 観光産業の振興と方向性について	(1) 本町の基本産業である農業・漁業・商工業の振興に重要な観光産業をリーディング産業として有効と期待される与論型DMO設立のため、長期的予算措置を行い、これまでの常識を覆すことによって起きる衝撃的な出来事を指す「イノベーション」を実現するための人材育成に力を注ぎ、本町経済の振興対策を講じる考えはないか。 (2) 現在、本町観光の盛り上がりが顕著になりつつある中で、既存宿泊施設が後継者不足や老朽化などの問題で受入れ継続が困難な状況に直面している。このままでは、ヨロンマラソン等のイベントや町全体の産業振興への影響が危惧されるが町長はこの問題をどのように認識し、どう対策を講じていく考えであるか。	町 長
		2 次期町長選挙への立候補について	(1) 町長の任期満了まで約半年あまりとなったが、次期町長選挙への立候補についてお気持ちを伺いたい。	町 長
4	林 敏 治	1 グリーン・ツーリズムの整備対策について	(1) グリーン・ツーリズムは農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のことであり、農産物や加工品の販路拡大、新たな就業の場などの創出効果により、農山漁村の活性化の有効な手段として期待されている。町を挙げて、地域一丸となり農山漁村滞在型旅行をビジネスとして実施できる体制の整備を行う考えはないか。	町 長
		2 航空運賃軽減事業の支援拡充について	(1) 県は奄振法の延長を前提に交付金を活用した航空運賃軽減事業の対象に「準住民」を追加する計画である。現在、本町に住民登録をしている方に離島割引カードを発行しているが、県内与論出身者や定住移住を希望する県外者にも離島割引が対象となるよう支援拡充を図る考えはないか。	町 長

# 一 般 質 問 通 告 書

平成31年第1回定例会 No. 3

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
		3 旧役場庁舎の跡地利用について	(1) 旧役場庁舎の跡地利用については、島内における茶花市街地の占める位置づけを十分考慮し、島全体の経済活性化の起爆剤となり得る機能を持たせることが、極めて重要であると痛感するが、町民アンケート調査の結果を踏まえ町長はどのように認識し、今後具体的対策をどう進める方針であるか。	町 長
5	川 村 武 俊	1 不登校、いじめ問題について	(1) 本町の児童・生徒の不登校、いじめ問題の現状と対策はどうなっているか。	教 育 長
		2 子育て支援対策について	(1) 子育て家庭における国民健康保険税の子ども均等割を「完全免除」にする考えはないか。	町 長
		3 農業振興対策について	<p>(1) 昨年末に発効したTPPの現状は、1月27日に財務省が発表した貿易統計によると牛肉の輸入がオーストラリア産40パーセント増、カナダ産5.3倍、ニュージーランド産3倍、メキシコ産44パーセント増と急増している。TPPから抜けた米国産牛肉の輸入の伸びは低調で、今後米国が日本に市場開放圧力を強める展開も予想され、牛肉市場をとりまく畜産農家とさとうきび農家の将来が危惧されるが、どのように認識し対策をどう考えているか。</p> <p>(2) 今後予想される気候の変動や増加傾向にある人と物の往来による農畜産物に与える伝染病等の対策として、持ち込まれる病原体を未然に防ぐためには検疫の強化が必要であると認識するが、対策をどう考えているか。</p> <p>(3) 畜産における粗飼料自給率の向上及び優良素牛の自家保留は、喫緊の課題だと考える。優良素牛の評価に当たってゲノミック評価があるが、将来的に取り組む考えはないか。</p>	町 長  町 長

# 一 般 質 問 通 告 書

平成31年第1回定例会 No. 4

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	質 問 の 相 手
6	遠 山 勝 也	1 外国人技能実習生の積極的な受け入れについて	(1) 本町における人手不足解消対策として、外国人技能実習生を受け入れることは、通年雇用の難しさや住宅の整備、離島が故の高額な渡航費用等の問題があり、受け入れには慎重にならざるを得ず、人手不足問題は壁にぶつかったままの状態である。このような中、隣町では、早くから独自に本土の農業の大規模産地に習い実習生の受け入れによる人手不足解消に努め、現在100人以上が就労していると聞く。国が4月から農業や建設業、介護など14業種で新たな外国人労働者の受け入れを始めようとしている今、本町においても、先進地の取組を参考にするなど受け入れ体制の整備を積極的に進めていく必要があると思うが、どのように考えているか。	町 長
		2 子育て支援金の拡充について	(1) 先日、与論高等学校で第48回卒業式が挙行され希望で胸いっぱいの子供たち31人が巣立ちました。その子供たちの親は子供の成長に喜ぶ一方、就職試験や進学受験の際の交通費や宿泊費に始まり、一人暮らしをさせるためのアパート代や生活用品代、進学するための入学金や授業料など、短期間で多額の費用を工面しなければならず、経済的にも精神的にも負担となっているのが現状である。高校卒業時にも親の負担を軽減できるよう子育て支援金を拡充する考えはないか。	町 長